

第16回 通常 総会 記録

日 時 昭和60年 6月22日 午後 1時30分
場 所 富 山 県 農 協 会 館

昭和59年度の事業の終了にあたり、ここに事業の概要ならびに決算関係諸表についてご報告申し上げます。

本研究会は、創立以来16年を経過しその間会員各位の絶えまないご努力によって農村保健に関する優れた業績を積み重ね、その成果は国内のみならず、数次にわたる国際集会においても発表されています。ことに59年9月に行なわれたニュージーランドにおける第9回国際農村医学会にも10数名の会員の参加をみ、かつ本研究会における調査研究の一端を報告されましたことは特筆すべきことと思います。

本年度は前年に引き続き、事業計画に基づき、農村地域環境に対応し、各種の調査研究を行ってまいりました。本研究会の活動は一地域に限らず、県下農山漁村の広範囲にわたる共同の調査研究も少なくなく、広い観点から農村の特性も検索してきました。ご承知の通り農業労働の近代化、ことに農業機械の進歩、農薬使用の普遍化などとともに、生活環境の変貌、ことに栄養問題、家族構成の変化により来る心理的問題も提起され、益々多岐にわたる方向に展開されてきました。かつ人口の高齢化は、種々の社会的問題も包蔵し、成人病対策の一環として広い視野にわたる研究も続けられています。また、都市近郊農村の混住化による各種の事項も今後の課題として提起されている一方、辺地農山村の過疎化の進行も保健問題として看過できない問題として調査研究の課題の一つとして提起されています。

また、老人保健法実施以来、成人病対策にも重点を置き、プライマリ・ヘルス・ケアの本旨に基づき、健康管理の啓蒙指導にも力を注ぎ、会員各位のご努力により、一応の成果を上げてっていると信じております。さらに昨年行いました研究集会を本年度においても実施し、多数の会員各位よりの報告があり活発な討議も行われ、今後の調査研究についての新しい示唆が与えられました。

昭和60年度も、会員各位のご理解とご努力により「健康で明るい豊かな村づくり」を推進するため事業計画に基づき一層のご協力をお願いする次第であります。

最後に、本研究会発展のため富山県、県農協連より絶大なご援助をいただき厚く感謝致します。

議事の概要

会 員 総 数	198名	うち出席者63名	委任状110名
会 長 挨 拶	豊 田 文 一		
議 長 選 出	厚生連本所部長	木 村	実
議事録署名者	魚津市 清 水 忠 夫	富山市 柳 井 道 之	
書 記	西 田 利 紀 夫	辻 純 雄	
議 事	第 1 号 議 案	昭和59年度事業報告書、財産目録、収支決算報告承認について	
	第 2 号 議 案	昭和60年度事業計画及び収支予算案承認について	
	第 3 号 議 案	定款の一部変更について	
	第 4 号 議 案	役員の一部改選について	
	第 5 号 議 案	顧問の一部変更承認について	

特 別 講 演 金沢大学名誉教授 豊 田 文 一 氏
演 題 「諸外国の農村を巡って」

第3回富山県農村医学研究および健康管理活動発表集会記録

日時：昭和61年3月8日

場所：厚生連高岡病院講堂

第3回の研究発表集会は、昭和61年3月8日、厚生連高岡病院にて、発表演題7題、参加約100名でおこなわれ、活発な討論がおこなわれました。

なお、発表演題名は下記の通りです。

< プ ロ グ ラ ム >

1. 会長挨拶 (13:30~13:40)

2. 会員発表 (13:40~ 発表時間10分, 討論5分)

(座長 前国立富山病院長 長谷田祐作 13:40~)

1. 出稼ぎ労働者の飲酒様態 (第1報)

富山保健所	○五十嵐 喜世子	島 浦 邦 子	柏 樹 悦 郎
	三 浦 カズ子	中 町 澄 子	中 川 秀 幸
県精神衛生センター	井 沢 朋 子		
中部社会福祉事務所	柴 美喜子		
富山医科薬科大学	成 瀬 優 知		
富山市民病院	草 野 亮		
上市保健所	中 川 昭 忠		

2. 飲酒常用者の健康状態について ——人間ドックの成績から——

厚生連総合検診センター	○小 川 忠 邦	阿 部 修 平	松 井 規 子
	岸 宏 栄	永 田 隆 恵	中 井 陽 子

3. アルコール退院患者の追跡 (第3報)

富山市民病院精神科	○山 野 俊 一	道 野 富 夫	女 川 幸 夫
	利 波 栄 子	大 村 桂 子	草 野 亮

(座長 厚生連滑川病院長 小川 忠邦 14:25~15:25)

4. 農薬(畑作)従事者の農薬使用に伴う健康調査

魚津保健所	○有 沢 義 夫	南 部 厚 子	西 川 朱 美
	熊 西 忠 郎	平 田 久美子	飯 田 恭 子
黒部保健所	常 田 知 信		
富山県衛生研究所	田 中 朋 子	城 石 和 子	

5. 老人病院における摂食障害者の検討

医療法人新川病院	○飛 世 栄 子	越 山 健 二	中 村 澄 子
	高 本 富 子	永 崎 みのる子	平 井 美 枝

6. 富山県の一農村における肥満度と血清脂質の関連性について

富山医科薬科大学
公衆衛生学教室

○岩田 孝吉 寺西 秀豊 窪田 裕子
西条 旨子 加藤 輝隆 青島 恵子
加須屋 実

7. 胃内視鏡検査を受ける外来患者の不安を考える

—胃生検者のアンケートより—

厚生連滑川病院

○碓井 智恵子 川口 京子 栃山 ひろ子
川岸 晴美 池田 京子
他看護科一同

<特別報告> (15:25~15:55)

富山県インドネシア技術協力団, 南スラウェジ(セルベス)へ行く

富山県農村医学研究会会長 豊田 文一

3. 閉会 (16:00)

役 員 名 簿

昭和60年6月22日現在

理 事			
氏	名	役	職
豊田	文一	金沢大学名誉教授	
門廣	繁幸	県医務課長	
守田	美典	県農産普及課長	
尾山	京三	県公衆衛生課長	
中川	秀幸	富山保健所長	
中田	慶子	福野保健所長	
渡辺	正男	富山医科薬科大学教授	
中藤	康俊	富山大学助教授	
越山	健二	全国国保医学会顧問	
石田	礼二	富山市民病院長	
長谷	田祐	前国立療養所富山病院長	
寺中	正昭	城端厚生病院長	
広瀬	龍夫	県医師会理事	
西北	能正	西能病院長	
北川	鉄人	北川内科クリニック院長	
広島	清一	厚生連高岡病院長	
小川	川忠	厚生連滑川病院長	
小館	野政	県立中央病院医療局長	
鈴木	邦雄	高岡市民病院副院長	
龍沢	木俊	厚生連高岡病院副院長	
八村	木信	県農協中央会専務理事	
村上	部紀	県農協青年組織協議会委員長	
竹部	治喜	県農協婦人組織協議会長	
跡部	治順	県経済連生活総合課課長	
長田	弘子	県農協生活指導員協議会長	
監 事			
本多	重雄	富山県高志リハビリテーション病院事務局長	
松井	昭治	高岡市農林部長	
顧 問			
中堀	沖健	富山県知事	
村井	武一	〃 市長会長	
本入	多幸	〃 町村会長	
横山	沢文	〃 医師会長	
松井	井準	〃 厚生部長	
山井	口信	〃 農業水産部長	
滝田	口光	〃 農協中央会長	
梅谷	金弘	〃 厚生連会長	
河合	久蔵	〃 信連会長	
	三雄	〃 経済連会長	
	郎三	〃 共済連会長	

昭和59年度収支決算書

昭和59年4月1日～昭和60年3月31日

収入の部

		子 算	決 算	増(△)減
会 費 収 入		150,000	198,000	48,000
	会 費	150,000	198,000	48,000
援 助 収 入		5,280,000	5,280,000	0
	助 成 金	1,800,000	1,800,000	0
	特 別 負 担 金	3,480,000	3,480,000	0
雑 収 入		25,794	135,977	110,183
	雑 収 入	25,794	135,977	110,183
前 期 繰 越 金		279,384	279,384	0
収 入 計		5,735,178	5,893,361	158,183

支出の部

		子 算	決 算	増(△)減
会 議 費		850,000	478,560	△ 371,440
	総 会 費	200,000	137,020	△ 62,980
	役 員 会 費	450,000	270,240	△ 179,760
	専 門 委 員 会 費	150,000	59,300	△ 90,700
	編 集 委 員 会 費	50,000	12,000	△ 38,000
事 業 費		4,330,000	4,604,393	274,393
	研 究 調 査 費	2,000,000	2,202,553	202,553
	研 究 集 会 費	450,000	384,560	△ 65,440
	会 誌 発 行 費	1,400,000	1,580,000	180,000
	通 信 費	130,000	134,250	4,250
	消 耗 品 費	250,000	204,030	△ 45,970
	備 品 ・ 什 器	100,000	99,000	1,000
旅 費 交 通 費		250,000	170,880	△ 79,120
	旅 費 交 通 費	250,000	170,880	△ 79,120
事 務 費		240,000	240,000	0
	事 務 費	240,000	240,000	0
雑 費		20,000	9,960	△ 10,040
	雑 費	20,000	9,960	△ 10,040
子 備 費		45,178	0	△ 45,178
	子 備 費	45,178	0	△ 45,178
支 出 計		5,735,178	5,503,793	△ 231,385
次 期 繰 越 金			389,568	389,568

昭和60年度事業計画書

昭和60年4月1日～昭和61年3月31日

① 事業方針

富山県内の農山漁村の実態および医療と保健に関するすべての問題を調査研究し、明るい健康な村づくりに寄与する。

② 運営にかかる事業計画

事業内容

1. 農村の職業性疾患の調査研究

農村の地域環境並びに農作業の特殊性に起因する健康障害の調査研究

2. 農業災害の調査研究

農業機械の健康に及ぼす影響についての調査研究、特に騒音及び振動の影響に関する研究及び農業機械並びに農業機械以外による農業災害事故調査

3. 農薬の生体における影響に関する調査研究

4. 健康管理についての調査研究

農業従事者の健康状態の把握と保健指導

農業従事者の健康管理の調査研究

農業従事者の成人病実態調査とその対策に関する検討

5. 農村における高齢者の社会医学的研究

6. 農村の特殊疾患の調査研究

伝染病、風土病等の地域多発疾患の疫学的調査研究

7. 農村における社会医学的研究

社会変動による農業従事者の健康に及ぼす影響についての調査研究、都市近郊農村の社会医学的研究

8. 環境汚染と農村における健康障害についての調査研究

9. 乳幼児並びに学童の健康調査及び対策

10. 農村の健康会議、健康教室等の実施

11. 研究会誌並びに必要な印刷物の発行

12. 研究集会の参加及び開催

13. その他目的達成に必要な事項

投 稿 規 定

募 集 原 稿 農村医学の分野における独創的な研究および会員のたよりとします。

投 稿 の 資 格 投稿者は原則として富山県農村医学研究会会員とします。

原 稿 の 送 り 先 富山県農村医学研究会事務局宛（富山市新総曲輪2番21号 富山県厚生連内）
投稿原稿の掲載選択順位は編集委員にご一任下さい。

論文原稿の形式

1. 本文は本会規定の原稿用紙に、口語体、平かな、新かなづかいで、できるだけ簡潔に横書して下さい。
2. 外人名、地名、その他の固有名詞、特別な化合物名などは、できるだけ原綴のまま（Pasteur, Prostaglandin等）とし、動植物名は日本名の次に学名（ローマ猿 *Macaca rhesus*, 山椒藻 *Salvinabatah*等）を記入する。計量にかんするものはメートル法に準拠し、次のような略号を用いる。メートルm、センチメートルcm、グラムg、キログラムkg等。
3. コンマ（,）ピリオド（.）コロン（:）ゴジックの使用等に気をつけて下さい。
4. 図表は、そのまま製版できるように上質ケント紙または方眼紙に墨で、ていねいに書いて下さい。（図表は、特殊なものを除いては、出来あがり左右6.5cmに製版しますから、その2倍か3倍に書いて下さい。）
図表の文字は、こちらで記入しますから、鉛筆で書いて下さい。
5. 写真は出来るだけ鮮明なものをお送り下さい。
6. 本文に挿入する図表、写真については、挿入場所を原稿の欄外に明記（朱記）して下さい。

無 料 掲 載 原稿用紙20枚（刷上がり5頁）までとします。ただし挿入附図、附表を含みます。

有 料 掲 載 超過頁の印刷代、附図、附表の製版代の実費は投稿者の負担とします。ただし刷上がり15頁を限度とし長篇の論文を5頁ずつ分割掲載することは認められません。

文 献

1. 雑誌の場合著者名、標題名、雑誌名（雑誌指定の略号）、巻数（号数）、頁一頁、発行年月（昭52.5のごとく。）
2. 単行本の場合 著者名：標題名、発行所、発行地、発行年月（必要ならば引用の個所の頁を最後に）

別 刷 別刷の部数や体裁などについてはある程度まで、実費をもってご希望に応じます。ただし別刷30部までは無料で投稿者に進呈、30部以上は実費をご負担願います。

本 編 集 後 記

桜前線が何時北陸へ上陸するのかと心待ちにしていたのが突然の開花宣言，そして今回は3分咲きの桜並木を松川沿いに遙かに眺めながらの編集委員会です。

先ずお詫びしなければならないのは本17巻から2分冊発刊の予定だったのが諸行事など輻輳し事務的にどうにも追いつかず，ついに今迄通り1冊に纏めざるを得なかったことです。2分冊発行は会長初め会員各位の切なる願ひであっただけに誠に申訳なく，早くから原稿をお寄せ頂いた諸先生方にも心からお詫び申し上げます。

昭和61年度第18巻こそ間違いなく2分冊と致し度く，常時原稿も受付けて居りますので今後とも御尽力の程宜致くお願い申し上げます。

本年の農村をめぐる環境は例年に比しひとしおし厳しいことも予想されますが農村における健康の保持増進のため一層頑張りたいものと思つて居りますが会員の皆様方にもより一層の御健康と御活躍を期待してやみません。(Y. H.)

編 集 委 員 越山 健二、長谷田祐作、北川 鉄人

富山県農村医学研究会誌 第17巻 昭和61年3月25日印刷・昭和61年3月31日発行
富山市新総曲輪2番21号・富山県厚生連内 電話 富山(0764)45-2307
編集、発行所 富山県農村医学研究会 事務局長 岩 井 久 作
印刷所 株式会社チューエツ 富山市上赤江町 電話(0764)32-4171
